

【年間テーマ 働きやすい職場作り～管理職研修について】

平成 29 年 10 月 23 日提出

日付	平成 29 年 10 月 21 日 (土)			
場所	福ビル		記録者名：福本京子	
出席者 (敬称略)	財津幸子/福西会	有村けい子/福岡和人会	原佳子/松尾内科	福本京子/有吉
テーマ	各施設における管理職研修（師長・主任）の現状と課題を共有する。			
結論	<p>1,自施設内で管理職研修を院内独自で確立しているところは1施設のみで、対象に合わせて看護部長が実施しているところが多く、看護協会主催の外部研修や外部講師に委託し院内研修を開催している。</p> <p>2,研修で知識を得たとしても現場で展開している場面で苦慮しており、成功体験が得られないことが自信喪失になっているケースが多いため、現場でのプロセスを評価・サポートすることが看護部長の課題となる。</p>			
決定事項	<p>1-①院内独自の効果的な方法として他部門と協働・役割分担し、法人グループ全体で研修スタイルを構築。事務局は経営的視点、看護部は倫理など。他部門と連携は持ち帰り決定。</p> <p>2-①主任・師長に任命したときには、まずすることは「私の病棟を〇〇したい。」とビジョンを語らせること。ビジョンを語れないリーダーにスタッフは魅力を感じないし、自分の思いを言葉にすることでスタッフの気持ちを引き寄せることができる。ここも持ち帰り決定。</p> <p>2-②リーダーに必須な要素として#1 問題解決手法 #2 コミュニケーションスキルの2点。#2 コミュニケーションの基本は声かけと挨拶に尽きる。声かけしてもらうことの大切さを管理職自らが受容すれば、現場へのよい循環に繋がっていく。看護部長も自ら、中間管理職に励ましや労いの気持ちと心を添える。</p>			
備考	※開催日変更のため、大変ご迷惑をおかけしました。			
次回討論項目	次回（12月9日）はこれまでのまとめと、2月発表の準備。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

Eメールアドレス info@famcf.jp (FAX.092-691-3961)